

脱炭素型のライフスタイルを目指そう!!

ゼロカーボンシティはこだて

ZERO

CARBON CITY
HAKODATE

2050年の函館市

「ゼロカーボンシティはこだて」を実現した社会においては、革新的技術の開発普及などのイノベーションによって、私たち一人ひとりの生活が、健康で幸福感を感じながら生き生きと暮らし、快適で利便性が高いライフスタイルへ転換していくことが想定されます。

このような未来を現実のものとするには、決して容易なことではありませんが、社会の変化を見越して、未来のイメージを共有し、一人ひとりが意識を変え、脱炭素の視点を持って責任のある行動をとることで、「ゼロカーボンシティはこだて」の実現につながります。



2050年の函館市のイメージ

函館市環境部環境政策課

TEL 0138-85-8154

Email : kankyoh-seisaku@city.hakodate.hokkaido.jp



CARBON CITY
HAKODATE

ゼロカーボンシティはこだて



脱炭素型の ライフスタイル を目指そう!!

函館市は、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロ※にする『ゼロカーボンシティはこだて』を目指します。

(※) 温室効果ガス排出量から森林などによる吸収量を差し引きし、実質0にすること。

近年、気候変動を背景とする異常気象が世界各地で発生し、わが国においても平均気温の上昇、大雨、台風等による被害、農作物や生態系への影響等が観測されており、今後、豪雨や猛暑のリスクがさらに高まることが予測されています。

このような気候変動の要因としてあげられている地球温暖化への対応が世界共通の喫緊の課題となるなか、国は令和2年10月に温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

こうした状況を踏まえ、函館市においても、令和4年2月25日、ゼロカーボンシティの実現に向けて、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す事を表明しました。

函館市の二酸化炭素排出量の内訳(2020年度)

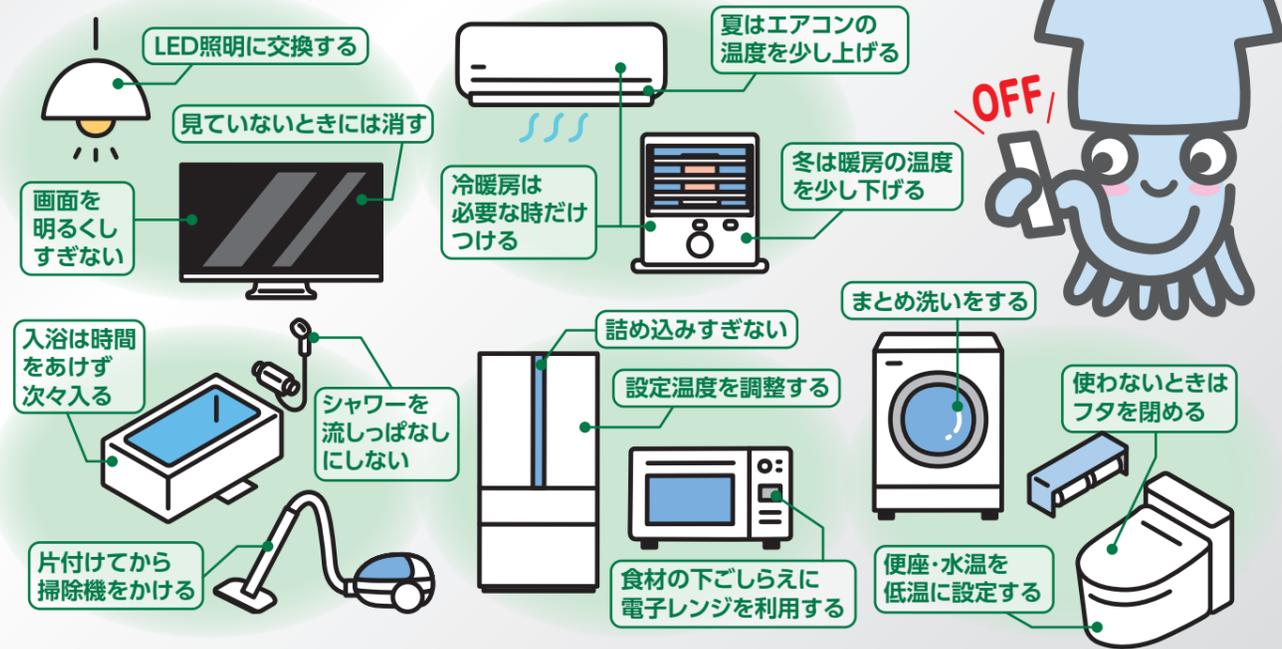
函館市から排出される二酸化炭素の約28%を**家庭からの排出量**が占めています。家庭部門は家庭で使用される電気やガス、灯油などのエネルギーの使用に伴うものを示しています。



はこだてエコライフ

家庭で取り組める
省エネルギー行動

私たちは、暮らしや社会の中で電気やガス、灯油などの多くのエネルギーを使っており、知らず知らずのうちに二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しています。日常生活において、今から家庭でできるエコな取り組みを実践していきましょう。



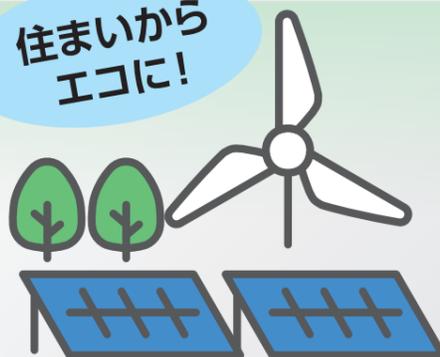
再生可能エネルギー + 高断熱住宅へ

住まいから
エコに!

私たちの生活に欠かすことのできない電気。発電時に二酸化炭素を出さない太陽光・風力・地熱などの「再生可能エネルギー」由来の電気を使用することで、函館市から排出される二酸化炭素の量を減らすことができます。

このためには、小売電気事業者が提供する「再生可能エネルギー電気プラン」を利用するほか、自宅に太陽光パネル等を設置し、家庭で使用する電気を賄うなど、これらの方法により、ご自宅のエネルギーの脱炭素化を目指しませんか。

また、住宅の断熱化を図ることで、冷暖房に使用するエネルギーの節約につながります。外窓の交換、内窓の新設または交換、玄関ドア等の交換、壁・床・浴室の断熱改修など、高断熱化の検討をしてみませんか。



移動をエコに

通勤・通学・買い物・旅行などの日々の行動には、状況に応じたエコな移動手段を選びましょう。二酸化炭素排出量が少ない電車やバスなどの公共交通機関のほか、二酸化炭素を全く排出しない徒歩や自転車での移動を選びましょう。

自動車で移動するときには、エコドライブを行うことで、二酸化炭素排出量や燃料使用量を減らすことができます。



また、電気自動車（EV）や燃料電池自動車（FCV）などの次世代自動車は、走行中に大気汚染物質の排出が少ない、または全く排出しない、従来型のガソリン車と比べて約2倍程度燃費性能が優れているなどの環境にやさしい自動車です。自動車を購入する際には、次世代自動車を選んではいかがでしょうか。

3Rの推進とプラごみの削減

近年、世界中でプラスチックごみが大きな問題となっています。特に海洋汚染は深刻で、2050年には海中のプラスチックごみの量が魚の量を上回ると予想されており、海洋生物や人体への悪影響が懸念されています。

プラスチックごみを削減するためには、使い捨てプラスチック製品を極力使わない、「バイオマス」などの再生可能な素材の商品を選ぶなど、私たちのライフスタイルを見つめ直すことが大切です。



ごみを減らし、地球環境を守るために私たちにできることとして、3R（スリーアール）という大切な3つの行動があります。3Rとは、ごみを減らすこと（リデュース）、ものを捨てずに繰り返し使うこと（リユース）、資源として再生利用（リサイクル）することです。

ごみの減量化や資源の有効利用を進めるために、3Rの取り組みを実践しましょう。